

明治期における音楽用語の研究

—楽典事項の比較検討を中心にして—

田 邊 隆

(音楽科教育研究室)

(昭和60年10月11日受理)

I. 緒 言

現在の文部省指導要領(音楽)では、「表現」と「鑑賞」の二領域で表現されている。かつての指導要領では、「基礎」^(注1)が各領域(歌唱・器楽・創作・鑑賞)と並び取りあげられていた。また、今日の創造性を重視した音楽教育の動向がある。

そのような中であって、あえて明治期の音楽理論書、楽典、音楽教科書の比較検討を試みるのは、次の理由による。

今日、学生達が将来の指導者として、より広範で深い理解を経て教育活動に臨む必要性を、教員養成課程の中であって痛感している。

簡単な音楽理論については、小学校・中学校・高校(選択)の中で履習し、体験してきている。しかしその理解は、表面的な暗記が多く、音楽理論への拒否反応の現実は、全て学生達の責任と言えようか。結果のみ記憶し対応することに強い疑問を抱かずにはいられない。

明治期は、異なった文化の一つである「洋楽」を国楽作りの一環として導入を試みた時期である。当時、先人達が洋楽を理解し、啓蒙したその経緯について調査することは、現在の初心者(学生)がこれから音楽体験を重ねて行く上で、有益な示唆が得られることになると考える。また、現在の音楽理論の指導法について再検討する手掛かりを見い出せるのではないかと考える。




II. 調査方法及び調査範囲

(1) 資料名

- ① 音楽之枝折・上 (大村芳樹 著) 明治22年以前 普及舎^(注2)
- ② 音楽之枝折・続編(全) (大村芳樹 著) 明治22年 普及舎^(注3)
- ③ 楽典初歩 (文部大臣官房図書課) 明治21年 大日本図書株式会社^(注4)
- ④ 音楽理論 (鈴木米次郎 著) 明治25年 秀英舎^(注5)
- ⑤ 楽典入門 (多 梅稚 著) 明治32年 中井書店^(注6)
- ⑥ 楽典教科書 (入江好治郎 著) 明治35年 共益商社楽器店^(注7)

《表1》

楽 譜

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名	音楽之林折(上)	音楽之枝折(統)	楽典初歩	音楽理論	楽典入門	楽典教科書	中学唱歌集(上)	楽典大意	普通楽典教本
現在の用法	大村芳樹(M22以前)	大村芳樹 (M22)	文部大臣官房音楽課(M21)	鈴木米次郎(M25)	多 梅稚 (M32)	入江好治郎 (M35)	鈴木米次郎・野村成仁(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)
著者・出版年	大村芳樹(M22以前)	大村芳樹 (M22)	文部大臣官房音楽課(M21)	鈴木米次郎(M25)	多 梅稚 (M32)	入江好治郎 (M35)	鈴木米次郎・野村成仁(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)
01 楽 譜	101 楽 譜	201 楽 譜	301 楽 譜	401 楽 譜	501 楽 譜 本譜(略譜に対して)	601 (ノーション) 楽 譜	701 楽 譜	801 楽 譜	901 楽 譜
02 譜 表	102 譜 表	202 譜 表	302 (スタッフ) 譜 表	402 (stave) 譜 表	502 譜 表	602 譜 表	702 譜 表	802 譜 表	902 譜 表
03 Full Score	103 譜 表	203 譜 表	303 (フルスコア) 完全連合譜表	403 譜 表	503 譜 表	603 (フルスコア) 完全連合譜表	703 譜 表	803 譜 表	903 譜 表
04 (score) 総 譜	104 譜 表	204 譜 表	304 (スコア) 連合譜表	404 譜 表	504 譜 表	604 (サクセッションスタッフ) 連合譜表	704 譜 表	804 連合譜表	904 譜 表
05 大譜表	105 大譜表	205 大譜表	305 大譜表	405 (great stave) 大譜表	505 大譜表	605 大譜表	705 大譜表	805 大譜表	905 大譜表
06 高音部譜表	106 最高音部譜表	206 最高音部譜表	306 最高音部譜表	406 最高音部譜表	506 高音部譜表	606 高音部譜表	706 高音部譜表	806 高音部譜表	906 高音部譜表
07 中音部譜表	107 中音部譜表	207 中音部譜表	307 中音部譜表	407 中音部譜表	507 中音部譜表	607 中音部譜表	707 中音部譜表	807 中音部譜表	907 中音部譜表
08 低音部譜表	108 低音部譜表	208 低音部譜表	308 低音部譜表	408 低音部譜表	508 低音部譜表	608 低音部譜表	708 低音部譜表	808 低音部譜表	908 低音部譜表
09 (大譜表や 総譜の際)	109 連 線	209 連 線	309 連 線	409 連 線	509 窮 線	609 窮 線	709 窮 線	809 窮 線	909 窮 線
10 音部記号	110 音部記号	210 音部記号	310 (クレフス) 音部記号	410 (clef) 音部記号	510 音部記号	610 (クレフ) 音部記号	710 音部記号	810 音部記号 音度記号	910 音部記号 音度記号
11 	111 (ト)字記号 最高音部記号	211 (ト)字記号	311 (ト)字記号 最高音部記号	411 と字記号 最高音部記号	511 ト字記号	611 ト字記号 高音部記号	711 (ト)字記号 高音部記号	811 と字記号 高音部記号	911 ト字記号 高音部記号, バイオリン記号
12 	112 は字記号	212 は字記号	312 (ハ)字記号 中音部記号, 次中音部記号	412 は字記号	512 は字記号	612 中音部記号	712 は字記号	812 は字記号 中音部記号	912 ハ字記号 中音部記号
13 	113 (ヘ)字記号 低音部記号	213 (ヘ)字記号	313 (ヘ)字記号 低音部記号	413 へ字記号 低音部記号	513 へ字記号	613 へ字記号 低音部記号	713 (へ)字記号 低音部記号	813 へ字記号 低音部記号	913 へ字記号 低音部記号
14 加 線	114 (上下)短線	214 加 線	314 (レジャーライン) 加 線	414 (Leger lines) 加 線	514 加 線	614 加線, 増線	714 加 線	814 加 線	914 加 線
15 (第一線)	115 (第一線)	215 第一線	315 (第一線)	415 第一線	515 (第一線)	615 (一線)	715 (第一線)	815 (第一線)	915 (第一線)
16 (第一間)	116 ダイイテノマ (第一間)	216 第一間	316 (第一の間)	416 第一間	516 (第一間)	616 (一間)	716 第一間	816 第一間	916 (第一間)
17 (上第一線) (下第一間)	117 (上第一線) (下第一間)	217 上第一線 下第一間	317 上第一線 下第一間	417 上第一線 下第一間	517 (上第一線) (下第一間)	617 (上(うえ)一線) (下(した)一線)	717 (下第一の加線上)	817 上第一線 下第一間	917 (上第一線) (下第一間)
18 小 節	118 小 節	218 小 節	318 (メジャー) 小 節	418 (Bars measure) 小 節	518 小 節	618 (ミジャー)小節 (1小節)楽句	718 小 節	818 小 節	918 小 節
19 完全小節	119 完全小節	219 完全小節	319 完全小節	419 完全小節	519 正格小節	619 正格の小節	719 完全小節	819 完全小節	919 正格小節
20 不完全小節	120 不完全小節	220 不完全小節	320 不完全小節	420 不完全小節	520 変格小節	620 変格の小節	720 不完全小節	820 不完全小節	920 変格小節, 不備小節

- ⑦ 中学唱歌集・上（鈴木米次郎、野村成仁 共著） 明治38年 十字屋^{〔注8〕}
- ⑧ 楽典大意（鈴木米次郎 著） 明治38年 自省堂本店^{〔注9〕}
- ⑨ 普通楽典教本（開成館音楽課 編） 明治41年 大阪開成館^{〔注10〕}

（2） 資料作成について

- ① 各資料を初版年の順に並べた。^{〔注11〕}ただし、「音楽之枝折」は上巻と続編の二冊で一つとの見方が妥当と思われたので、「楽典入門」より以前の資料として先頭に配した。
- ② 分類について
「1. 楽譜」, 「2. 記号・略号」, 「3. 音符・休符」, 「4. 強弱に関する記号」, 「5. 拍子」, 「6. 音程・和音」, 「7. 音階・調」, 「8. 楽語（速度・その他）」, 「9. その他の用語」以上9項目に分けた。
- ③ 資料作成における記入方法について
 - 1. 各用語, 用法に与えられた名称を記入。
 - 2. 各用語, 用法の解説または例示については, () 書きで記入。
 - 3. 各用語の名称が無いもの, また記述が不明確なものについては——を記入。
 - 4. 今回, 調査対象外の項目（邦楽など）については, 資料に記述があっても省略した。

III. 調査結果



《表1》

楽 譜

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
資料名	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(続)	楽典初歩	音楽理論	楽典入門	楽典教科書	中学唱歌集(上)	楽典大意	普通楽典教本	
現在の用法	著者・出版年	大村芳樹(M22以前)	大村芳樹(M22)	文部大臣官房楽譜課(M21)	鈴木米次郎(M25)	多梅稚(M32)	入江好治郎(M35)	鈴木米次郎・野村成三(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)
21 縦線	121 一縦線 (縦線一條)	221 一縦線	321 (単)縦線	421 縦線	521 単縦線	621 単縦線	721 単縦線	821 縦線	921 (単)縦線	
22 複縦線	122 二縦線 (縦線二條)	222 二縦線	322 (ダブルバー) 併行縦線	422 (Double bars) 複縦線	522 複縦線	622 複縦線	722 複縦線	822 複縦線	922 複縦線	
23 (2小節) 動機	123 _____	223 _____	323 _____	423 (Phrase) 中節(2~3小節)	523 _____	623 (フレーズ) 中節(2小節)	723 _____	823 _____	923 _____	
24 (4小節) 小楽節, 楽句	124 _____	224 _____	324 _____	424 (Period) 大節, 段落	524 _____	624 (セクション) 大節(4小節)	724 _____	824 _____	924 _____	
25 (8小節) 大楽節, 段落	125 _____	225 一大節	325 (ペリオド) 段落	425 _____	525 _____	625 (ペリオド) 小段落(8小節)	725 段落	825 _____	925 _____	
26 (16小節) 大楽節(2)	126 _____	226 _____	326 _____	426 _____	526 _____	626 (パラグラフ) 大段落(16小節)	726 _____	826 _____	926 _____	

《表2》

記号, 略号

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
現在 の用法	資料名 著者・出版年	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹(M22)	楽典初歩 文部大臣官房楽典課(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多 梅稚(M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村成仁(M36)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
staccato	101	201	301	401 (cut off) 切 半	501	601	701	801	901	
	102	202	302 頓 音 (黒点)	402 (semi stac. 点) (mezzo stac. 半弾音)	502 (黒点) 短速鮮明	602 星点音	702	802 (スタカトー) 点を付す	902 黒 点	
	103	203 頓 音	303 頓 音 (垂点)	403 (staccato) 垂点, 弾音	503 (垂点) 黒点より一層鮮明	603 頓 音	703 垂 点	803 (スタカトー) 垂点を付す	903 垂 点	
スラー	104	204 貫 音	304 連 結	404 連結(線) (円滑に)	504 連結線	604 連 (軟滑に連結)	704 連 結	804 (スラー) 円滑に	904 連結線	
レガート	105	205	305 連 音	405 集合連音 (円滑に)	505	605 軟滑に	705	805	905	
タイ	106	206 結合(符)	306 (ターイ, 連合) (バインド, 結束)	406 連 合	506 連合線	606 帯	706 連 合	806	906 結合線	
アルペジオ	107	207	307 全絃神速反復	407 (Arpeggio) 全絃神速運動	507 全絃神速反復	607	707	807	907 琶 音	
8 va	108	208 Octava の略	308	408 8 vi 又 8 va	508	608 8 va	708	808	908	
loco	109	209	309	409 loco	509	609 記譜通りに	709	809	909	
シンコペーション	110	210 切分声 (>…切分声符)	310 切分法	410 切分音符	510	610 切分法	710	810 切分音符	910 切分音	
アクセント (>)	111	211 増声(符)(sf)	311 強 声	411 強 声	511 或一音符を特に強く	611 増声(fz)	711	811	911 特に強く	
臨時記号	112 臨時符	212 臨時符	312 臨時用記号 (臨時音)	412 臨時記号	512 変更記号	612 臨時記号 遷位記号	712 臨時記号	812 臨時記号	912 変化記号	
#	113 嬰 符	213	313 嬰音, 嬰の記号	413 嬰(なる記号)	513 嬰記号	613 嬰(えー)	713 嬰	813 嬰	913 嬰記号	
×(##)	114	214 重嬰(の臨時符)	314 重 嬰	414 重 嬰	514	614	714	814	914 重 嬰	
b	115 変 符	215	315 変音, 変の記号	415 変(なる記号)	515 変記号	615 変	715 変	815 変	915 変記号	
b b	116	216 重変(の臨時符)	316 重 変	416 重 変	516	616	716	816	916 重 変	
h	117 本位符	217	317 本位記号	417 本位記号	517 本位記号	617 本 位	717 本位記号	817 本位記号	917 本位記号	
h h	118	218	318	418 重本位記号	518	618	718	818	918	
プレス(V)	119	219	319	419	519	619 (V, ') 氣息(いきつき)記号	719	819	919	
装飾記号(音符)	120	220 塩梅(えんばい)	320 粧飾音	420 (graces) 塩梅記号	520	620 塩梅記号 (装飾符号)	720	820 装飾音 (経過音)	920 装飾記号	

《表2》

記号, 略号

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹 (M22)	楽典 初 歩 文部大臣官製楽典(M21)	音 楽 理 論 鈴木米次郎(M25)	楽 典 入 門 多 梅 稚 (M32)	楽 典 教 科 書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎(M35)	楽 典 大 意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
21	121 _____	221 _____	321 _____	421 (Beat) 波 動	521 _____	621 _____	721 _____	821 波 動	921 倚 音
22	122 _____	222 倚 音	322 倚 音	422 倚 音	522 倚 音	622 倚 音	722 _____	822 倚 音	922 倚 音
23	123 _____	223 後 音	323 _____	423 _____	523 後 音	623 _____	723 _____	823 _____	923 _____
24	124 _____	224 (すいおん) 碎 音	324 _____	424 (Twitch) トウィッチ	524 _____	624 碎 音	724 _____	824 _____	924 碎音(平又折)
25	125 _____	225 _____	325 _____	425 Trill	525 _____	625 _____	725 _____	825 _____	925 (Mordente) (順) 連音
26	126 _____	226 _____	326 _____	426 _____	526 _____	626 _____	726 _____	826 _____	926 逆連音
27	127 _____	227 _____	327 回 音	427 (Direct turn) 回 音	527 回 音	627 回 音	727 _____	827 正回音	927 順回音
28	128 _____	228 _____	328 回 音	428 (Inverted turn) 回 音	528 反回音, 逆回音	628 回 音	728 _____	828 転回音	928 逆回音
29 tr.	129 _____	229 _____	329 顫音, 連顫	429 (Trillo) 顫 音	529 顫 音	629 顫 音	729 _____	829 顫 音	929 顫 音
30 W	130 _____	230 _____	330 _____	430 グイレクト	530 _____	630 _____	730 _____	830 _____	930 _____
31 //, /.	131 _____	231 _____	331 _____	431 //, /., Simili	531 _____	631 _____	731 _____	831 _____	931 //, //
32	132 _____	232 _____	332 _____	432 	532 _____	632 _____	732 _____	832 _____	932
33 : :	133 反復符 (:)	233 _____	333	433	533 : : 反復記号	633 : : , 反復記号	733 : :	833 反復記号	933 : : 反復記号
34 :S.	134 連続符 (:S.)	234 連続符 (:S.)	334 : \$:	434 :S. 又 :S.	534 連続記号 :S.	634 :S. (なる符号)	734 :S. (反復)	834 返奏するところの (:S.) 注意の記号	934 連続記号(:S.)
35 D. S.	135 _____	235 _____	335 al segno	435 Dal Segno (al Segno 記号迄)	535 _____	635 反標記号(D.S.)	735 _____	835 _____	935 _____
36 D. C.	136 _____	236 反始符 (D.C.)	336 Da Capo (D.C.)	436 Da Capo	536 反始 (の義)	636 反始記号(D.C.)	736 _____	836 返始記号 (D.C.)	936 反始記号(D.C.)
37	137 永声符	237 _____	337 (ポーズ) 延声記号	437 延声記号	537 延長記号	637 _____	737 延声記号	837 延声記号	937 延長記号
38	138 終止符	238 _____	338 _____	438 _____	538 終止記号	638 終結記号	738 (反復終る)	838 _____	938 終止記号
39 Fine	139 _____	239 _____	339 結 尾	439 終 曲	539 (Fin) 終 止	639 終 結	739 _____	839 終 曲	939 (Fin.) 終止記号
40 1. 2.	140 _____	240 _____	340 1st Time 2d Time	440 _____	540 1. 11.	640 _____	740 _____	840 _____	940 1 2



《表3》

音符, 休符

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
資料名	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(続)	楽典初歩	音楽理論	楽典入門	楽典教科書	中学唱歌集(上)	楽典大意	普通楽典教本	
現在 の用法	大村芳樹(M22以前)	大村芳樹(M22)	文部大臣官制音楽課(M21)	鈴木米次郎(M25)	多 梅 稚 (M32)	入江好治郎(M35)	鈴木米次郎(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)	
著者・出版年	101	201	301	401	501	601	701	801	901	
01	音符	音符	音符	音符	音符	音符	音符	音符	音符	
02	単純音符	_____	_____	_____	_____	普通音符	単音符	_____	単純音符	
03	付点音符	103 _____ (譜例としてのみ)	203 付点	303 付点音符	403 (付点全音符)	503 付点音符	603 付点音符, 複音符	703 付点音符	803 付点音符	903 (単)付点音符
04	複付点音符	104 _____	204 再付点	304 複点音符	404 (二個の付点を記することあり)	504 _____	604 再付点音符	704 _____	804 重付点音符	904 複付点音符
05	休(止)符	105 休止符	205 _____	305 休止符	405 (Rests) 休止符	505 休止符	605 (レスト) 黙符	705 休止符	805 休止符	905 黙符
06	単純休(止)符	106 _____	206 _____	306 _____	406 _____	506 普通休止符	606 単黙符	706 _____	806 _____	906 単純黙符
07	付点休(止)符	107 _____	207 _____	307 付点休止符	407 (付点全休止符)	507 (付点休止符)	607 付点黙符, 複黙符	707 付点休止符	807 付点休止符	907 付点休止符
08	複付点休(止)符	108 _____	208 _____	308 _____	408 _____	508 _____	608 再付点黙符	708 _____	808 重付点休止符	908 複付点休止符
09	○ ,	109 _____	209 _____	309 _____	409 二全音符(α, ○)	509 _____	609 _____	709 _____	809 _____	909 二音符
10	・○	110 全音符	210 _____	310 (セミアブレーブ) 全音符	410 全音符	510 全音符	610 (セミアブリューブ) 全音符	710 全音符	810 全音符	910 全音符
11	♪	111 二分音符	211 _____	311 (ミニム) 二分音符	411 二分音符, 半音符	511 二分音符	611 (ミニム) 半音符, 二分音符	711 二分音符	811 半音符	911 二分音符
12	♪	112 四分音符	212 _____	312 (クロチェット) 四分音符	412 (crotchet) 四分音符	512 四分音符	612 (クロチェット) 四分音符	712 四分音符	812 四分音符	912 四分音符
13	♪	113 八分音符	213 _____	313 (クエバー) 八分音符	413 八分音符	513 八分音符	613 (クエーバール) 八分音符	713 八分音符	813 八分音符	913 八分音符
14	♪	114 十六分音符	214 _____	314 (セミクエバー) 十六分音符	414 十六分音符	514 十六分音符	614 (セミクエーバール) 十六分音符	714 十六分音符	814 十六分音符	914 十六分音符
15	♪	115 三十二分音符	215 _____	315 (デミセミクエバー) 三十二分音符	415 三十二分音符	515 三十二分音符	615 (デミセミクエーバール) 三十二分音符	715 三十二分音符	815 卅二分音符	915 三十二分音符
16	—	116 全音の休止符(一)	216 _____	316 _____ (一)	416 全音休止符 (一)	516 全体止符 (一)	616 (セミアブリューブレスト) 全黙符 (一)	716 全体止符 (一)	816 全体止符 (一)	916 全体止符 (一)
17	—	117 二分一の休止符(一)	217 _____	317 _____ (一)	417 半音休止符 (一)	517 二分休止符 (一)	617 二分黙符 (一)	717 二分休止符 (一)	817 半休止符 (一)	917 二分休止符 (一)
18	ㄥ	118 四分一の休止符(ㄥ, ㄥ)	218 _____	318 _____ (ㄥ)	418 四分休止符 (ㄥ)	518 四分休止符 (ㄥ, ㄥ)	618 四分黙符(ㄥ, ㄥ, ㄥ)	718 四分休止符(ㄥ, ㄥ)	818 四分休止符(ㄥ, ㄥ)	918 四分休止符(ㄥ, ㄥ)
19	ㄥ	119 八分一の休止符(ㄥ, ㄥ)	219 _____	319 _____ (ㄥ)	419 八分休止符 (ㄥ)	519 八分休止符 (ㄥ)	619 八分黙符(ㄥ, ㄥ)	719 八分休止符 (ㄥ)	819 八分休止符 (ㄥ)	919 八分休止符 (ㄥ)
20	ㄥ	120 十六分一の休止符(ㄥ, ㄥ)	220 _____	320 _____ (ㄥ)	420 十六分休止符(ㄥ)	520 十六分休止符(ㄥ)	620 十六分黙符(ㄥ)	720 十六分休止符(ㄥ)	820 十六分休止符(ㄥ)	920 十六分休止符(ㄥ)

《表3》

音符、休符

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
資料名	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(続)	楽典初歩	音楽理論	楽典入門	楽典教科書	中学唱歌集(上)	楽典大意	普通楽典教本	
現在の用法	著者・出版年	大村芳樹(M22以前)	大村芳樹(M22)	文部大臣官房国書課(M21)	鈴木米次郎(M25)	多梅稚(M32)	入江好治郎(M35)	鈴木米次郎・野村政仁(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)
21		121 ——	221 ——	321 —— (フ)	421 三十二分休止符(フ)	521 三十二分休止符(フ)	621 三十二分黙符(フ)	721 三十二分休止符(フ)	821 卅二分休止符(フ)	921 三十二分休止符(フ)
22	符頭	122 符心	222 ——	322 符首	422 白符, 黒符	522 ——	622 符頭	722 ——	822 ——	922 符頭
23	符尾	123 符体	223 ——	323 符尾	423 符尾	523 ——	623 符尾	723 ——	823 符尾	923 符尾
24	符鉤	124 符尾	224 ——	324 鉤	424 鉤	524 ——	624 符鉤	724 ——	824 鉤	924 鉤
25		125 ——	225 ——	325 ——	425 連合音符	525 ——	625 ——	725 ——	825 ——	925 ——
26	三連音符	126 ——	226 ——	326 (トリプレット) 変拍子	426 (Triplet) 変拍子	526 三連音符 (拍子上, 変拍子という)	626 三連音符 (変拍子)	726 三連音符	826 三連拍子 (変拍子)	926 三連音符 (拍子上, 変拍子)
27	五連音符	127 ——	227 ——	327 ——	427 ——	527 ——	627 ——	727 ——	827 ——	927 五連音符
28	七連音符	128 ——	228 ——	328 ——	428 ——	528 ——	628 ——	728 ——	828 ——	928 七連音符

《表4》

強弱に関する記号

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在 の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹 (M22)	楽典初歩 文部大臣官房図書課(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多 梅稚 (M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村成仁(M35)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
01 p	101 ——	201 柔軟 (に奏す)	301 弱 声	401 (soft) 弱声に	501 弱	601 弱 く	701 弱 く	801 弱勢に	901 弱 く
02 mp	102 ——	202 ——	302 ——	402 寧ろ弱声に	502 中 弱	602 中庸の度より少し弱く	702 稍弱く	802 (Mezzo; 中勢に)	902 中等の弱さに
03 pp	103 ——	203 極めて柔軟(に奏す)	303 極 弱	403 (very soft) 甚だ弱声に	503 最 弱	603 極めて弱く	703 甚だ弱く	803 最弱勢に	903 尤も弱く
04 f	104 ——	204 剛壮 (に奏す)	304 強 声	404 (loud) 強声に	504 強	604 強 く	704 強 く	804 強勢に	904 強 く
05 mf	105 ——	205 fとpの中間の 度に於て奏すべし	305 中等の強声	405 寧ろ強声に	505 中 強	605 中庸の度より少し強く	705 稍強く	805 (Mezzo; 中勢に)	905 中等の強さに
06 ff	106 ——	206 極めて剛壮に (而て粗暴に失す可らず)	306 極 強	406 (very loud) 甚だ強声に	506 最 強	606 極めて強く	706 甚だ強く	806 最強勢に	906 尤も強く
07 sf	107 ——	207 増声(強声部に あらざるもの音に勢力 を増加せしむる時、 増声と称し強声と区別す)	307 増声力、fz (特別に声力を加え)	407 (不時) 増声 (但し其音のみ)	507 (略語sf; 記号^) 一音のみ特に強く	607 付したる音符のみ強く	707 ——	807 ——	907 急に強く
08 >, ^	108 ——	208 ——	308 (特別に声力を加え)	408 強 声	508 一音符を特に強く	608 増声(強声部より 弱声部に勢力を与ふ)	708 (accent) 強 く	808 ——	908 特に強く
09 〰	109 ——	209 (crescendo) 漸大音	309 (crescendo) 最初弱声、漸次強声	409 (increasing in loudness) 漸次強声に、漸次増声	509 (cres) 漸次に強声	609 (cres.) 次第に強く	709 (crescendo) 漸次に強く	809 (cresc.) 漸次増勢	909 (cresc.) 漸次強く
10 〰	110 ——	210 漸小音	310 (diminuendo)	410 (decreasing in loudness) 漸次弱声に、漸次減声	510 (Decres) 漸次に弱声	610 次第に弱く	710 (> Diminuendo) 漸次に弱く	810 漸次減勢	910 漸次弱く
11 dim.	111 ——	211 (Diminuendo) 漸小音	311 (diminuendo) 減声力、漸次弱声	411 (deminishing) 減声に	511 (〰) 漸次に弱声	611 次第に弱く	711 (> Diminuendo) 漸次に弱く	811 (Diminuendo) 漸次減勢	911 (Diminuendo) 漸次弱く
12 <>	112 ——	212 ——	312 ——	412 ——	512 ——	612 スエル(まず、次第に 強くし次に次第に弱くす)	712 ——	812 ——	912 ——
13 fp	113 ——	213 ——	313 ——	413 (loud and instantly soft) 強声の後直ちに弱声に	513 ——	613 ——	713 ——	813 ——	913 ——
14 Sempre ff	114 ——	214 ——	314 ——	414 常に強音に	514 ——	614 ——	714 ——	814 ——	914 ——

《表5》

拍 子

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在 の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹 (M22)	楽典初歩 文部大臣官印圖書課(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多 梅 稚 (M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村成仁(M35)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
01 拍子記号	101 _____	201 _____	301 (シグナチャー) 拍子記号	401 (time signature) 拍子記号	501 拍子記号	601 (タイムシグナチャー) 拍子記号	701 拍子記号	801 拍子記号	901 拍子記号
02 拍打法 (指揮法)	102 (強……下げ) (弱……上げ)	202 _____	302 拍法(下拍,左拍…)	402 _____	502 拍法(図形)	602 拍節(図形)	702 _____	802 拍節法(図形)	902 拍法(図形)
03 拍の数え方	103 _____	203 _____	303 _____	403 _____	503 _____	603 呼 声	703 _____	803 _____	903 _____
04 強 拍	104 _____	204 強 声	304 強声(部)	404 強声(部)	504 強 声	604 強声(部)	704 _____	804 強声(部)	904 強声(部)
05 弱 拍	105 _____	205 弱 声	305 弱声(部)	405 弱声(部)	505 弱 声	605 弱声(部)	705 _____	805 弱声(部)	905 弱声(部)
06 (アウフタクト) 弱 起	106 (譜例)	206 (譜例)	306 (譜例)	406 (譜例)	506 (譜例)	606 弱起	706 _____	806 _____	906 (譜例)
07 シンコーション	107 _____	207 切分声 (>…切分声符)	307 切分法, 切分音	407 切分音(符)	507 _____	607 切分法	707 _____	807 切分音符	907 切分音
08 メトロノーム	108 _____	208 _____	308 拍節機	408 拍節機	508 _____	608 拍節機	708 _____	808 拍節機	908 拍節機
09 2拍子	109 $\frac{2}{4}$	209 $\frac{2}{4}$	309 $\frac{2}{4}, \frac{2}{2}(\phi)$	409 $\frac{2}{8}, \frac{2}{4}, \frac{2}{2}(\phi), \frac{2}{4}$	509 $\frac{2}{4}, \frac{2}{2}(\phi)$	609 $\frac{2}{4}, \frac{2}{2}(\phi)$	709 $\frac{2}{4}, \frac{2}{2}(\phi)$	809 $\frac{2}{4}, \frac{2}{2}$	909 $\frac{2}{4}, \frac{2}{2}$
10 3拍子	110 $\frac{3}{8}, \frac{3}{4}, \frac{3}{2}$	210 $\frac{3}{4}$	310 $\frac{3}{8}, \frac{3}{4}, \frac{3}{2}$	410 $\frac{3}{8}, \frac{3}{4}, \frac{3}{2}, \frac{3}{4}$	510 $\frac{3}{4}, \frac{3}{2}$	610 $\frac{3}{8}, \frac{3}{4}, \frac{3}{2}$	710 $\frac{3}{8}, \frac{3}{4}$	810 $\frac{3}{8}, \frac{3}{4}$	910 $\frac{3}{8}, \frac{3}{4}, \frac{3}{2}$
11 4拍子	111 $\frac{4}{4}(C)$	211 $\frac{4}{8}, \frac{4}{4}(C)$	311 $\frac{4}{2}(C), \frac{4}{4}(C)$	411 $\frac{4}{8}, \frac{4}{4}(C), \frac{4}{2}(\phi)$	511 $\frac{4}{8}, \frac{4}{4}(C)$	611 $\frac{4}{8}, \frac{4}{4}(C)$	711 $\frac{4}{8}, \frac{4}{4}(C)$	811 $\frac{4}{8}, \frac{4}{4}$	911 $\frac{4}{8}, \frac{4}{4}, \frac{4}{2}$
12 5拍子	112 _____	212 _____	312 _____	412 $\frac{5}{8}$ (不規則なる拍子)	512 _____	612 (五拍子)	712 _____	812 _____	912 _____
13 6拍子	113 $\frac{6}{8}$	213 $\frac{6}{8}$	313 $\frac{6}{8}, \frac{6}{4}$	413 $\frac{6}{8}(\frac{3}{4}), \frac{6}{4}(\frac{3}{2}), \frac{6}{2}(\frac{3}{1}), \frac{6}{4}$	513 $\frac{6}{8}$	613 $\frac{6}{8}, \frac{6}{4}$	713 $\frac{6}{8}$	813 $\frac{6}{8}, \frac{6}{4}$	913 $\frac{6}{8}, \frac{6}{4}$
14 7拍子	114 _____	214 _____	314 _____	414 _____	514 _____	614 (七拍子)	714 _____	814 _____	914 _____
15 8拍子	115 緩慢なる拍子に於て八體の割合に数ふ	215 _____	315 _____	415 _____	515 _____	615 _____	715 _____	815 _____	915 _____
16 9拍子	116 $\frac{9}{8}$	216 _____	316 $\frac{9}{8}, \frac{9}{4}$	416 $\frac{9}{8}(\frac{3}{8}), \frac{9}{4}(\frac{3}{4}), \frac{9}{2}(\frac{3}{2}), \frac{9}{8}$	516 _____	616 $\frac{9}{8}$	716 _____	816 _____	916 $\frac{9}{8}$
17 12拍子	117 $\frac{12}{8}$	217 _____	317 $\frac{12}{8}$	417 $\frac{12}{8}(\frac{4}{8}), \frac{12}{4}(\frac{4}{4}), \frac{12}{2}(\frac{4}{2})$	517 _____	617 $\frac{12}{8}$	717 _____	817 _____	917 $\frac{12}{8}$
18 拍子の分類	118 単純拍子 集合拍子	218 _____	318 単純偶数(普通)拍子 単純 拍子 単純三連拍子 集合偶数(普通)拍子 集合 拍子	418 二拍子($\frac{2}{4}, \frac{2}{2}$) 三拍子($\frac{3}{4}, \frac{3}{2}$) 四拍子($\frac{4}{4}, \frac{4}{2}$) 複拍子 三拍子($\frac{3}{8}, \frac{3}{4}$) 四拍子($\frac{4}{8}, \frac{4}{4}$) 不規則なる拍子($\frac{5}{8}$)	518 二拍子 四拍子 (二拍子の重複) 三拍子 六拍子 (三拍子の重複)	618 単純等拍子 不等拍子 単純不等拍子 集合不等拍子 (九拍子)	718 二拍子 四拍子 三拍子 六拍子	818 二拍子に属するもの 三拍子に属するもの 四拍子に属するもの 六拍子に属するもの	918 普通拍子(平等拍子) ($\frac{2}{4}, \frac{4}{4}, \frac{3}{4}$) 三連拍子(不等拍子) ($\frac{3}{8}, \frac{3}{2}, \frac{6}{8}$) ($\frac{6}{8}, \frac{9}{8}$ あれども普通音楽に用うること少し)

《表6》

音程, 和音

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在 の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹 (M22)	楽典初歩 文部大臣官房図書課(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多 梅稚 (M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村成仁(M35)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
01 音程	101 _____	201 _____	301 (イントルバル) 音程	401 音程	501 音程	601 (単)音程	701 _____	801 音程	901 (単)音程
02 複音程	102 _____	202 _____	302 _____	402 _____	502 _____	602 (ダブルインターバル) 複音程	702 _____	802 _____	902 複音程
03 和声的音程	103 _____	203 _____	303 _____	403 _____	503 _____	603 _____	703 _____	803 _____	903 和声的音程
04 旋律的音程	104 _____	204 _____	304 _____	404 _____	504 _____	604 _____	704 _____	804 _____	904 旋律的音程
05 全音階的音程	105 _____	205 _____	305 全音階的音程	405 _____	505 全音階的音程	605 全音階的音程	705 _____	805 _____	905 全音階的音程
06 半音階的音程	106 _____	206 _____	306 半音階的音程	406 _____	506 半音階的音程	606 半音階的音程	706 _____	806 _____	906 半音階的音程
07 全音階的半音	107 _____	207 _____	307 _____	407 _____	507 全音階の半音	607 _____	707 _____	807 _____	907 普通半音 全音階の半音
08 半音階的半音	108 _____	208 _____	308 _____	408 _____	508 半音階の半音	608 _____	708 _____	808 _____	908 変体半音 半音階の半音
09 完全協和音程	109 _____	209 _____	309 _____	409 完全協和音程	509 _____	609 完全協和音程	709 _____	809 _____	909 完全協和音程
10 不完全協和音程	110 _____	210 _____	310 _____	410 不完全協和音程	510 _____	610 不完全協和音程	710 _____	810 _____	910 不完全協和音程
11 不協和音程	111 _____	211 _____	311 _____	411 不協和音程	511 _____	611 不協和音程	711 _____	811 _____	911 不協和音程
12 度	112 _____	212 _____	312 度数	412 _____	512 度数	612 (デグリー) 度	712 _____	812 _____	912 _____
13 完全音程	113 _____	213 _____	313 _____	413 完全音程	513 _____	613 完全音程	713 _____	813 _____	913 完全音程
14 長音程	114 _____	214 _____	314 長音程	414 長音程	514 _____	614 長音程	714 _____	814 _____	914 長音程
15 短音程	115 _____	215 _____	315 短音程	415 短音程	515 _____	615 短音程	715 _____	815 _____	915 短音程
16 増音程	116 _____	216 _____	316 _____	416 増音程	516 _____	616 増音程, 超過音程	716 _____	816 _____	916 増音程
17 減音程	117 _____	217 _____	317 _____	417 減音程	517 _____	617 減音程, 不及音程	717 _____	817 _____	917 減音程
18 転回	118 _____	218 _____	318 (インボリューション) 転回	418 転回(音程)	518 _____	618 転回	718 _____	818 転回	918 転回
19 原音程	119 _____	219 _____	319 _____	419 _____	519 _____	619 本源音程	719 _____	819 原音程 根底音程	919 原音程
20 同音	120 _____	220 _____	320 (ユニゾン) 同音	420 同度音程	520 _____	620 同音音程 中性一度音程	720 _____	820 同度音程	920 _____

《表6》

音程, 和音

現在 の用法	資料名		1		2		3		4		5		6		7		8		9	
	著者・出版年	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(上)
		大村芳樹(M22以前)	大村芳樹 (M22)	文部大臣官房図書課(M21)	鈴木米次郎(M25)	多 梅 稚 (M32)	入江好治郎(M35)	鈴木米次郎・野村成仁(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)										
21	完全1度	121	221	321	421	521	621	721	821	921	同音	同度音程	完全第一度	完全一度	同度音程	完全第一度	完全一度	同度音程	完全第一度	完全一度
22	増1度	122	222	322	422	522	622	722	822	922	増同度	増同度	増一度	増一度	増一度	増一度	増一度	増一度	増一度	増一度
23	長2度	123	223	323	423	523	623	723	823	923	長第二度	長第二度	長第二度	長二度	長第二度	長第二度	長二度	長第二度	長第二度	長第二度
24	短2度	124	224	324	424	524	624	724	824	924	短第二度	短第二度	短第二度	短二度	短第二度	短第二度	短二度	短第二度	短第二度	短第二度
25	増2度	125	225	325	425	525	625	725	825	925	増第二度	増第二度	増二度	増二度	増二度	増二度	増二度	増二度	増二度	増二度
26	減2度	126	226	326	426	526	626	726	826	926	減第二度	減第二度	減二度	減二度	減二度	減二度	減二度	減二度	減二度	減二度
27	長3度	127	227	327	427	527	627	727	827	927	長第三度	長第三度	長第三度	長三度	長第三度	長第三度	長三度	長第三度	長第三度	長第三度
28	短3度	128	228	328	428	528	628	728	828	928	短第三度	短第三度	短第三度	短三度	短第三度	短第三度	短三度	短第三度	短第三度	短第三度
29	増3度	129	229	329	429	529	629	729	829	929	増第三度	増第三度	増三度	増三度	増三度	増三度	増三度	増三度	増三度	増三度
30	減3度	130	230	330	430	530	630	730	830	930	減第三度	減第三度	減三度	減三度	減三度	減三度	減三度	減三度	減三度	減三度
31	完全4度	131	231	331	431	531	631	731	831	931	完全第四度	完全第四度	完全第四度	完全四度	完全第四度	完全第四度	完全四度	完全第四度	完全第四度	完全第四度
32	増4度	132	232	332	432	532	632	732	832	932	三連全音 三連全音の第四度	三連全音 増第四度	三連全音 増第四度	三連全音 超過四度, 大完全四度	三連全音 増第四度	三連全音 増第四度	三連全音 超過四度, 大完全四度	三連全音 増第四度	三連全音 大完全第四度	三連全音 増第四度
33	減4度	133	233	333	433	533	633	733	833	933	減第四度	減第四度	減四度	減四度, 不及四度	減四度	減四度	減四度, 不及四度	減四度	減四度	減四度
34	完全5度	134	234	334	434	534	634	734	834	934	完全第五度	完全第五度	完全第五度	完全五度	完全第五度	完全第五度	完全五度	完全第五度	完全第五度	完全第五度
35	増5度	135	235	335	435	535	635	735	835	935	増第五度	増第五度	増五度	増五度, 超過五度	増五度	増五度	増五度, 超過五度	増五度	増五度	増五度
36	減5度	136	236	336	436	536	636	736	836	936	不完全第五度	減第五度 (三連全音の転回)	不完全第五度	不完全第五度	不完全第五度	減第五度	不完全第五度	減第五度	不完全第五度	減第五度
37	長6度	137	237	337	437	537	637	737	837	937	長第六度	長第六度	長第六度	長六度	長第六度	長第六度	長六度	長第六度	長第六度	長第六度
38	短6度	138	238	338	438	538	638	738	838	938	短第六度	短第六度	短第六度	短六度	短第六度	短第六度	短六度	短第六度	短第六度	短第六度
39	増6度	139	239	339	439	539	639	739	839	939	増第六度	増第六度	増六度	増六度	増六度	増六度	増六度	増六度	増六度	増六度
40	減6度	140	240	340	440	540	640	740	840	940	減第六度	減第六度	減六度	減六度	減六度	減六度	減六度	減六度	減六度	減六度

《表6》

音程, 和音

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 作者・出版年	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹 (M22)	楽典初歩 文部大臣官房図書課(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多 梅稚 (M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村政仁(M35)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
41 長7度	141 _____	241 _____	341 長第七度	441 長第七度	541 長第七度	641 長7度	741 _____	841 長第七度	941 長第七度
42 短7度	142 _____	242 _____	342 短第七度	442 短第七度	542 短第七度	642 短7度	742 _____	842 短第七度	942 短第七度
43 増7度	143 _____	243 _____	343 _____	443 増第七度	543 _____	643 _____	743 _____	843 _____	943 _____
44 減7度	144 _____	244 _____	344 減第七度	444 減第七度	544 _____	644 減7度	744 _____	844 _____	944 減第七度
45 完全8度	145 _____	245 _____	345 完全第八度	445 完全第八度	545 完全第八度	645 完全八度	745 _____	845 完全第八度	945 完全第八度
46 減8度	146 _____	246 _____	346 _____	446 減第八度	546 _____	646 減八度, 不及八度	746 _____	846 _____	946 減第八度
47 (長9度)	147 _____	247 _____	347 (コンバウンド) 集合(長)第二度音程	447 _____	547 _____	647 集合長二度(音程)	747 _____	847 _____	947 _____
48 和音	148 _____	248 _____	348 _____	448 _____	548 和絃	648 (コード) 和絃	748 _____	848 和絃	948 和絃
49 和声	149 _____	249 _____	349 _____	449 _____	549 (和声学)	649 (ハーモニー) 和声	749 _____	849 和声	949 _____
50 四・和音	150 _____	250 _____	350 _____	450 _____	550 和絃	650 _____	750 _____	850 _____	950 全備和絃
51 長三和音	151 _____	251 _____	351 _____	451 _____	551 _____	651 長三和音 (普通和絃)	751 _____	851 長和絃	951 完全長和絃 長三和音, 長和絃
52 短三和音	152 _____	252 _____	352 _____	452 _____	552 _____	652 短三和音 (普通和絃)	752 _____	852 短和絃	952 完全短和絃 短三和音, 短和絃
53 増三和音	153 _____	253 _____	353 _____	453 _____	553 _____	653 増三和音	753 _____	853 _____	953 増三和音 増五(の)和絃
54 減三和音	154 _____	254 _____	354 _____	454 _____	554 _____	654 減三和音	754 _____	854 _____	954 減三和音 減五(の)和絃
55 (和音の)根音	155 _____	255 _____	355 _____	455 _____	555 _____	655 _____	755 _____	855 主調音	955 基音, 根音
56 (和音の)第三音	156 _____	256 _____	356 _____	456 _____	556 _____	656 _____	756 _____	856 (第三度)	956 第三音
57 (和音の)第五音	157 _____	257 _____	357 _____	457 _____	557 _____	657 _____	757 _____	857 (第五度)	957 第五音
58 基本型	158 _____	258 _____	358 _____	458 _____	558 _____	658 _____	758 _____	858 第一位置	958 _____
59 第1転回型	159 _____	259 _____	359 _____	459 _____	559 _____	659 _____	759 _____	859 第二位置	959 _____
60 第2転回型	160 _____	260 _____	360 _____	460 _____	560 _____	660 _____	760 _____	860 第三位置	960 _____

《表6》

音程、和音

現在の 用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	資料名 著者・出版年	音楽之技折(上)	音楽之技折(続)	楽典初歩	音楽理論	楽典入門	楽典教科書	中学唱歌集(上)	楽典大意	普通楽典教本
		大村芳樹(M22以前)	大村芳樹 (M22)	文部大臣官房図書課(M21)	鈴木米次郎(M25)	多 梅 稚 (M32)	入江好治郎(M35)	鈴木米次郎・野村成仁(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)
61 I の和音	161	261	361	461	561	661	761	861 普通和絃 主調和絃	961	第一度
62 II の和音	162	262	362	462	562	662	762	862	962	第二度
63 III の和音	163	263	363	463	563	663	763	863	963	第三度
64 IV の和音	164	264	364	464	564	664	764	864 次属和絃の和絃	964	第四度
65 V の和音	165	265	365	465	565	665	765	865 属和絃の和絃	965	第五度
66 VI の和音	166	266	366	466	566	666	766	866	966	第六度
67 VII の和音	167	267	367	467	567	667	767	867	967	第七度
68 7 th の和音	168	268	368	468	568	668	768	868 (普通和絃+7) 第七度の和絃	968	———
69 主要三和音	169	269	369	469	569	669	769	869	969	基礎和絃

《表7》

音階，調

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹 (M22)	楽典初歩 文部大臣官/圖書課(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多 梅稚 (M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎/野村成仁(M35)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
著者・出版年									
101	101	201	301	401	501	601	701	801	901
音階	音階	————	音階	音階	音階	音階	音階	音階	音階
102	102	202	302 (ダイアトニック)	402 (ダイアトニックスケール)	502	602 (ダイアトニックスケール)	702	802	902
全音階	————	————	全音階	全音階	全音階	全音階	————	————	全音階
103	103	203	303 半音階 (クロマチック…潤色)	403 (クロマチックスケール)	503	603 (上行的)半音階(♯) (下行的)半音階(♭)	703	803	903
半音階	半音階	————	半音階	半音階	半音階	半音階	————	半音階	半音階
104	104	204	304 (トーン)	404 (tone)	504	604	704	804	904
全音	————	————	全音	全音	全音(程)、一音(程)	————	全音、一音	全音	全音程
105	105	205	305	405	505	605	705	805	905
半音	————	————	半音	半音程	半音(程)	————	半音	半音	半音程
106	106	206	306	406	506	606	706	806	906
長音階	————	————	全音階の長音階	全音階の長音階	長音階	長音階	————	長音階	長音階
107	107	207	307	407	507	607	707	807	907
短音階	————	————	全音階の短音階	全音階の短音階	短音階	短音階	————	短音階	短音階
108	108	208	308	408	508	608	708	808	908
自然短音階	————	————	————	自然的短音階	自然短音階	自然短音階	————	自然短音階	自然短音階
109	109	209	309 (アルテルド)	409	509	609 (レモニックマイナースケール)	709	809	909
和声的短音階	————	————	変体短音階	和声的短音階	和声的短音階	和声的短音階	————	和声短音階	和声的短音階
110	110	210	310	410	510	610 (メロディックマイナースケール)	710	810	910
旋律的短音階	————	————	————	旋律的短音階	旋律的短音階	旋律的短音階	————	旋律短音階	旋律的短音階
111 (近親関係) 関係調	111	211	311 関係長音階 関係短音階	411 諸調関係 (関係(長・短)音階)	511 関係(長・短)音階	611 (リレチーフキー) 関係調	711	811	911 関係(長・短)調
112	112	212	312 (トニック)主音 主調音, 主和絃	412 (Key-note)主調音 (トニック)主和絃	512 第一音	612 (キーノート)主調音 (トニック)主和絃	712 根音	812	912 主音 主調音, 主和絃
113	113	213	313	413 上主和絃	513 第二音	613 (サブトニック) 上主和絃	713	813	913 上主和絃
114	114	214	314	414 中和絃, 中主和絃	514 第三音	614 (メジアント) 中和絃	714 第三音	814 第三度	914 中和絃
115	115	215	315 (サブドミナント) 次属和絃	415 第四度 次属和絃	515 第四音	615 (サブドミナント) 次属和絃	715 第四音	815 第四度 次属和絃	915 次属和絃 下属和絃
116	116	216	316 (ドミナント) 属和絃	416 第五度 属和絃	516 第五音	616 (ドミナント) 属和絃	716	816 第五度 属和絃	916 属和絃
117	117	217	317	417 次中和絃	517 第六音	617 (サブメジアント) 次中和絃, 上属和絃	717	817 第六度	917 次中和絃 上属和絃
118	118	218	318	418 導音	518 第七音, 導音	618 (リーディングノート) 導音, 下主和絃	718 第七音	818 第七度	918 感音, 導音, 下半音
119 (オクターブ) 第8音	119	219	319 (オクターブ) 八音	419 八音, 第八音	519 第八音	619 (オクターブ) 八音	719 第八音	819	919 (オクターブ) 八音
120	120	220	320	420	520	620	720	820	920
幹音	————	————	————	————	————	————	————	————	本位音, 基礎七音

《表7》

音階，調

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹 (M22)	楽典初歩 文部大臣官房編纂部(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多 梅 種 (M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村威仁(M35)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
21 調 号	121 _____	221 _____	321 調 号	421 (Key signature) 調 号	521 調 号 調子記号	621 (シグナチャー) 調 号	721 _____	821 調 号	921 調 号
22 主 調	122 _____	222 _____	322 (アリンシバル) 主 調	422 主 調	522 _____	622 _____	722 _____	822 _____	922 主 調
23 移 調	123 移 調 法	223 _____	323 (トランスポジション) 移 調	423 _____	523 _____	623 移 調	723 _____	823 移 調	923 移 調 法
24 転 調	124 _____	224 _____	324 (モジュレーション) 転 調	424 _____	524 _____	624 転 調	724 _____	824 _____	924 転調, (付属調)
25 音 名	125 _____	225 _____	325 (音符の名称)	425 _____	525 音 名	625 音 名	725 _____	825 _____	925 音 名
26 階 名	126 _____	226 _____	326 _____	426 (音階の各音)	526 階 名	626 (シレブル) 階 名	726 階 名	826 階 名	926 階 名
27 テトラコルド	127 _____	227 _____	327 (テトラコルド) 四 連 音	427 四 絃	527 _____	627 _____	727 _____	827 _____	927 _____
28 ハ長調	128 自然長音階	228 _____	328 自然長音階 全音階的ハ調長音階	428 自然長音階	528 自然音階	628 模範音階 自然長音階	728 基礎音階 ハ調音階	828 は調模範音階	928 基礎音階 模範音階
29 イ短調	129 _____	229 _____	329 _____	429 自然短音階	529 イ調自然的短音階	629 イ調短音階	729 _____	829 _____	929 自然的イ調短音階
30 #系音階	130 _____	230 _____	330 (嬰の記号を) 有する長音階)	430 嬰種長調	530 嬰種(長・短)音階	630 嬰種音階	730 嬰種音階	830 _____	930 嬰種(長・短)音階
31 b系音階	131 _____	231 _____	331 (変音を有する) 長音階)	431 変種長調	531 変種(長・短)音階	631 変種音階	731 変種音階	831 _____	931 変種(長・短)音階
32 理論上, 調号の多い調	132 _____	232 _____	332 (アジショナル) 増加(長・短)音階	432 _____	532 _____	632 _____	732 _____	832 _____	932 _____
33 遠隔調への転調	133 _____	233 _____	333 例外転調	433 _____	533 _____	633 _____	733 _____	833 _____	933 _____

《表8》

楽語(速度・その他)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
現在 の用法	資料名 著者・出版年	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(続)	楽典初歩	音楽理論	楽典入門	楽典教科書	中学唱歌集(上)	楽典大意	普通楽典教本
		大村芳樹(M22以前)	大村芳樹(M22)	文部大臣官報(昭和22年)	鈴木米次郎(M25)	多 梅程(M32)	入江好治郎(M35)	鈴木米次郎・野村誠一(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)
01	Grave	101	201	301	401 (grave and solemn) 甚だ緩徐に且つ厳格に	501	601	701	801	901
	_____	_____	_____	_____	_____	極めて緩徐に	極めて緩徐に	厳格に	重く厳格に	徐に、荘嚴に
02	Adagio	102	202	302	402 (leisurely) 急速ならず	502	602	702	802	902
	_____	_____	_____	_____	_____	最も緩徐に	甚だ緩徐に	最も緩徐に	緩徐に	緩徐に
03	Largo	103	203	303	403 甚大に、甚だ 遅く且つ厳格に	503	603	703	803	903
	_____	_____	_____	_____	_____	最も緩徐に	最も緩慢なる拍子	_____	宏大に	最も緩徐に
04	Lento	104	204	304	404 緩かに (緩徐の拍子に)	504	604	704	804	904
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	少し緩徐に	_____	静かに	極めて緩徐に
05	Larghetto	105	205	305	405 ラーゴの如く 緩かならず	505	605	705	805	905
	_____	_____	_____	遅く但し largo のごとく遅からず	_____	緩徐に	緩慢なる拍子	_____	寧ろ大きく	「ラルゴ」の如く遅からず
06	Andante	106	206	306	406 寧ろ緩徐に、 程良き速度にて	506	606	706	806	906
	_____	_____	_____	_____	_____	中等の遅さに	稍緩徐に且つ andantino よりも速く	稍緩徐に	尋常の速度に	稍緩徐に
07	Andantino	107	207	307	407 (not so slow as andante) andanteの如く緩かならず	507	607	707	807	907
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
08	Andantino	108	208	308	408 (diminutive andante) andante より稍速度を減じて	508	608	708	808	908
	_____	_____	_____	andante より 更に少し遅く	_____	_____	緩徐に	緩徐に	アンダンテより減速に	「アンダンテ」より少し速く
09	Moderato assai	109	209	309	409	509	609	709	809	909
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	中庸の速度よりも 稍速く	_____	_____	_____
10	Moderato	110	210	310	410	510	610	710	810	910
	_____	_____	_____	中等の速さに	程能く	中庸	中庸の速度	程よき速度に	程好き速度に	通常の速さに
11	Allegretto	111	211	311	411	511	611	711	811	911
	_____	_____	_____	全く allegro の如く速かならず	アレグロの如く 速かならず	稍や急速に	allegro の 如く速かならず	allegretto の如く速かに	アレグロより減速に	「アレグロ」の如く速ならず
12	Allegro	112	212	312	412 (merry and lively) 快活に	512	612	712	812	912
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
13	Vivace	113	213	313	413 (lively) 快活に	513	613	713	813	913
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
14	Vivacissimo	114	214	314	414	514	614	714	814	914
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	最も性急に	_____
15	Presto	115	215	315	415 (Prests) 速かに	515	615	715	815	915
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
16	Prestissimo	116	216	316	416 プレストーより 速かに甚だ速かに	516	616	716	816	916
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
17	Allegro ma non troppo	117	217	317	417	517	617	717	817	917
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	急速にすぎざる 様の意なり	_____	_____	_____
18	meno presto	118	218	318	418	518	618	718	818	918
	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
19	accelerando	119	219	319 (accel.) 速度の漸次急速なるもの	419 (accel.) 性急なる速度に	519 (Accel.) 漸次急速に	619 ある部分より 次第に急速にする時	719 (Accel.) 漸次に急速に	819 (Accel.) 漸次速かに	919 (Accel.) 漸次急速に
20	ritardando	120	220	320 (ritard.) 漸次徐々なるもの	420 (ritar.) 漸次延声に	520 (Rit.) 漸次緩徐に	620 或る部分より 緩徐にする時	720 (rit.) 漸次に緩徐に	820 (Rit.) 漸次緩徐に	920 (Rit.) 漸次緩徐に

《表8》

楽語(速度・その他)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(統) 大村芳樹 (M22)	楽典 初 歩 文部大臣官頒訳書(M21)	音 楽 理 論 鈴木米次郎(M25)	楽 典 入 門 多 梅 稚 (M32)	楽 典 教 科 書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村政二(M35)	楽 典 大 意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
calando	121	221	321 (cal.) 漸次緩徐にして且つ静和なるもの	421	521	621	721	821	921 漸次静粛に
rallentando	122	222	322 (rall.) 漸次緩徐なるもの	422 (rall.) 柔かに速度を減じて	522 漸次緩徐に	622 或る部分より緩徐にする	722	822 (Rall.) 漸次緩徐に	922
ad libitum	123	223	323 (ad lib.) 若干部分の速度を奏者の意見に	423	523	623	723	823	923 (Ad lib.) 奏者の意見に
a tempo	124	224	324 本来の速度に復するとき	424 固有の拍子に	524 一旦変更したる速度を本来の速廻に復せしむる	624 一旦速度を変更したるもの更に元の速廻に復せしむ	724 本来の速度に	824	924 本来の速度に
Stringendo	125	225	325	425 (strin.) 圧 迫 に	525	625	725	825	925 漸次急速に
Ritenuo	126	226	326	426	526	626	726	826	926 漸次緩徐に
Agitato	127	227	327	427 (agitated) 感情を以て	527	627	727	827	927 感情を以て
Alla Breve	128	228	328	428 二全音符 フレイアの拍子に	528	628	728	828	928
Animato	129	229	329	429 (animated) 精神を以て	529	629	729	829	929 感情を以て
A poco a poco	130	230	330	430 (by degrees) 漸 次 に	530	630	730	830	930
Assai	131	231	331	431 (sufficiently) 充 分 に	531	631	731	831	931
Ben	132	232	332	432 (well) 能 く	532	632	732	832	932
Brillante	133	233	333	433 (brillante) 光輝を以て	533	633	733	833	933
Cantabile	134	234	334	434	534	634	734	834	934 謡うが如く
Con	135	235	335	435 (with) 以 て	535	635	735	835	935
Con Brio	136	236	336	436 (with mirth) 愉快を以て	536	636	736	836	936
Con Espressione	137	237	337	437 (with expression) 感情を以て発想的に	537	637	737	837	937
Con Fuoco	138	238	338	438 (with fire) 火 急 に	538	638	738	838	938
Con Gust	139	239	339	439	539	639	739	839	939 趣味を以て
Con moto	140	240	340	440 (with motion) 感情を以て	540	640	740	840	940

《表8》

楽語(速度・その他)

現在 の用法	1		2		3		4		5		6		7		8		9	
	資料名 著者・出版年	音楽之技折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之技折(絃) 大村芳樹(M22)	楽典初歩 文部大臣官製楽典課(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多 梅稚(M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎 野村成二(M35)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)								
41	Con Tenerezza	141	241	341	441 (with tenderness) 柔順に	541	641	741	841	941								
42	Dolce	142	242	342	442 柔かに	542	642 (dol.) 円滑爽快に	742	842	942								柔かに
43	Espressivo	143	243	343	443 (expressive) 発想的に	543	643	743	843	943								
44	Fuoco	144	244	344	444	544	644	744	844	944								急速に精神を以て
45	Furioso	145	245	345	445	545	645	745	845	945								急いで
46	Giusto	146	246	346	446 (exact) 正格に	546	646	746	846	946								
47	Grazioso	147	247	347	447 (graceful) 快活に	547	647	747	847	947								
48	In istessotempo	148	248	348	448 同時に	548	648	748	848	948								
49	L'istesso tempo	149	249	349	449	549	649 前の拍子を保って	749	849	949								
50	Loco	150	250	350	450 柔かく	550	650	750	850	950								
51	ma	151	251	351	451 (but) 然れども	551	651	751	851	951								
52	Maestoso	152	252	352	452 (majestic) 威厳に	552	652 荘厳に且つ威ある様	752	852	952 (Maestoso) 威厳を以て								
53	ma non troppo	153	253	353	453 (but not too much) しかれども過量ならず	553	653	753	853	953								
54	Marcato	154	254	354	454 (marked) 注意して	554	654	754	854	954								
55	meno	155	255	355	455 (less) 稍々	555	655	755	855	955								
56	mezzo	156	256	356	456 (half) 半分に	556	656 (m.) 中庸の度 (強からず又弱からず)	756	856 (m.) 中勢に	956								
57	molt	157	257	357	457 (much, very) 多く、甚だ	557	657 甚だの意なり	757	857	957								
58	non	158	258	358	458 (not) ……ならず	558	658	758	858	958								
59	Passionato	159	259	359	459	559	659	759	859	959								感動して
60	Perdendosi	160	260	360	460 (losing itself) 減声に	560	660	760	860	960								

《表8》

楽語(速度・その他)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在 の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹(M22)	楽典初歩 文部大臣官庁音楽課(M21)	音楽理論 鈴木米次郎(M25)	楽典入門 多梅稚(M32)	楽典教科書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村誠二(M35)	楽典大意 鈴木米次郎(M38)	普通楽典教本 開成館音楽課(M41)
61 Più	161	261	361	461 (more) 速	561	661	761	861	961
62 Più mosso	162	262	362	462 頗る感情を以て	562	662	762	862	962
63 poco	163	263	363	463 (little) わずかに	563	663	763	863	963
64 Quasi	164	264	364	464 (as though) 例へば	564	664	764	864	964
65 (rf) Rinforzando	165	265	365	465 (forcing) 増声 (強声に但し進行中)	565	665	765	865	965
66 Ritenuto	166	266	366	466 (riten.) にわかに延声に	566	666	766	866	966 漸次緩徐に
67 Segue	167	267	367	467 (it follows) 次の如く	567	667	767	867	967
68 Sempre	168	268	368	468 (always) 常に	568	668	768	868	968
69 Smorzando	169	269	369	469 (extinguishing) 透逸に	569	669	769	869	969
70 Sostenuto	170	270	370	470 (sustained) 掛留	570	670	770	870	970 勢を減せずに
71 Tenuto	171	271	371	471 (held, sustained) 掛留	571	671	771	871	971
72 Tempo Commodo	172	272	372	472 適宜の拍子に	572	672	772	872	972
73 Tempo Ordinario	173	273	373	473 固有の拍子に	573	673	773	873	973
74 Tutta forza	174	274	374	474	574	674	774	874	974 最大勢力を以て
75 Vibration	175	275	375	475 顫動	575	675	775	875	975
76 Vigoroso	176	276	376	476	576	676	776	876	976 勇壮に
77 Volti	177	277	377	477 (turn) 反回	577	677	777	877	977

《表9》

その他の用語

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
資料名 現在 の用法	音楽之枝折(上) 大村芳樹(M22以前)	音楽之枝折(続) 大村芳樹 (M22)	楽典 初 歩 文部大臣官房図書課編(M21)	音 楽 理 論 鈴木米次郎(M25)	楽 典 入 門 多 梅 稚 (M32)	楽 典 教 科 書 入江好治郎(M35)	中学唱歌集(上) 鈴木米次郎・野村成仁(M35)	楽 典 大 意 鈴木米次郎(M38)	普 通 楽 典 教 本 開成館音楽課(M41)
01 メロディー	101 _____	201 _____	301 (単音唱歌)	401 (Melody) 旋 律	501 _____	601 (メロジー) 旋 律	701 _____	801 _____	901 (Melody) 旋 律
02 リズム	102 _____	202 _____	302 _____	402 (Rhythm) 口 調	502 _____	602 _____	702 _____	802 _____	902 _____
03 Treble	103 _____	203 _____	303 最高音	403 最高音	503 _____	603 _____	703 _____	803 _____	903 _____
04 Soprano	104 _____	204 _____	304 最高音	404 最高音	504 _____	604 最高音部	704 _____	804 高 音	904 高 音
05 Mezzo-soprano	105 _____	205 _____	305 _____	405 高 音	505 _____	605 _____	705 _____	805 _____	905 _____
06 Contralto	106 _____	206 _____	306 中 音	406 中 音	506 _____	606 _____	706 _____	806 _____	906 _____
07 Alto	107 _____	207 _____	307 中 音	407 中 音	507 _____	607 中 音 部	707 _____	807 中 音	907 中 音
08 Counter tenor	108 _____	208 _____	308 _____	408 次 中 音	508 _____	608 _____	708 _____	808 _____	908 _____
09 Tenor	109 _____	209 _____	309 次 中 音	409 次 中 音	509 _____	609 次 中 音 部	709 _____	809 次 中 音	909 次 中 音
10 Barytone	110 _____	210 _____	310 _____	410 上 低 音	510 _____	610 _____	710 _____	810 低 音	910 低 音
11 Bass	111 _____	211 _____	311 低 音	411 低 音	511 _____	611 低 音 部	711 _____	811 _____	911 _____
12 声域・音域	112 _____	212 _____	312 (声音の)区域	412 _____	512 _____	612 人声の区域	712 _____	812 _____	912 声音の区域
13 弦 楽 器	113 _____	213 _____	313 _____	413 絃 楽 器	513 _____	613 _____	713 _____	813 絃 楽 器	913 _____
14 管 楽 器	114 _____	214 _____	314 _____	414 管 楽 器	514 _____	614 _____	714 * 單 楽 器	814 管 楽 器	914 _____
15 打 楽 器	115 _____	215 _____	315 _____	415 擊 楽 器	515 _____	615 _____	715 _____	815 擊 楽 器	915 _____
16 鍵盤 (楽器)	116 鍵 盤	216 _____	316 _____	416 有鍵盤楽器	516 _____	616 (キーボード)鍵盤 有鍵盤楽器	716 _____	816 有鍵盤楽器	916 (有鍵盤楽器の)鍵盤
17 ピアノ	117 洋 琴	217 洋 琴	317 洋 琴	417 洋 琴	517 _____	617 洋 琴	717 _____	817 洋 琴	917 洋 琴
18 オルガン	118 風 琴	218 風 琴	318 風 琴	418 風 琴	518 * 風 琴	618 風 琴	718 _____	818 風 琴	918 風 琴
19 アコーディオン	119 _____	219 _____	319 _____	419 _____	519 _____	619 _____	719 * 手 風 琴	819 _____	919 _____
20 白鍵・黒鍵	120 白色鍵・黒色鍵	220 _____	320 _____	420 _____	520 _____	620 白鍵・黒鍵	720 _____	820 _____・黒鍵	920 白鍵・黒鍵

《表9》

その他の用語

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
資料名	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(続)	楽典初歩	音楽理論	楽典入門	楽典教科書	中学唱歌集(上)	楽典大意	普通楽典教本	
現在の用法	著者・出版年	大村芳樹(M22以前)	大村芳樹(M22)	文部大臣官舎編訳(M21)	鈴木米次郎(M25)	多 梅 種 (M32)	入江好治郎(M35)	鈴木米次郎 野村成仁(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)
21	ハーブ	121	221	321 立 琴	421	521	621	721 (*陽 琴)	821	921
22	発想記号	122	222	322 発相記号	422 (Expression) 発想記号	522 発想記号 (特別強調記号)	622	722	822 発想用語	922 発相記号
23	オルガストップ	123	223	323	423	523	623 風琴音栓	723	823	923
24	Bass coupler	124	224	324	424	524	624 オクターブ下の音を同時に添える	724	824	924
25	Clarabella	125	225	325	425	525	625 軟らかにして愉快な音	725	825	925
26	Diapason	126	226	326	426	526	626 平滑流動しかも管笛の音	726	826	926
27	Dulcet	127	227	327	427	527	627 爽快流麗	727	827	927
28	Dulciana	128	228	328	428	528	628 Bas-Soon 又は Oboi の楽器に類似	728	828	928
29	Forte	129	229	329	429	529	629 勢力を付加して音を強くする。音は強剛	729	829	929
30	Melodia	130	230	330	430	530	630 純清にして管笛の音に似る	730	830	930
31	Piano	131	231	331	431	531	631 Forte の反対、音色柔和優美	731	831	931
32	Treble coupler	132	232	332	432	532	632 オクターブ上の音を同時に添える	732	832	932
33	Viola Dolce	133	233	333	433	533	633 Viola の楽器、流麗明朗	733	833	933
34	Voix celeste	134	234	334	434	534	634 柔和にして天上の声かと疑はる	734	834	934
35	Solo	135	235	335	435	535	635 (単音唱歌)	735	835 独 奏	935
36	Duet	136	236	336	436	536	636 (複音唱歌) (諸重音唱歌)	736	836 連 奏	936
37	Trio	137	237	337	437	537	637 (三重音唱歌)	737	837 三部合奏	937
38	Quartet	138	238	338	438	538	638 (四重音唱歌)	738	838 四部合奏	938
39	輪 唱	139	239	339	439	539	639 (ロンドー) 輪 唱	739	839	939
40	合 唱	140	240	340	440	540	640 合 唱	740	840 (コーラス) 合 唱	940

《表9》

その他の用語

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
資料名	音楽之枝折(上)	音楽之枝折(統)	楽典初歩	音楽理論	楽典入門	楽典教科書	中学唱歌集(上)	楽典大意	普通楽典教本	
現在の用法	著者・出版年	大村芳樹(M22以前)	大村芳樹(M22)	文部大臣官庁聴講熟議(M21)	鈴木米次郎(M25)	多 梅稚(M32)	入江好治郎(M35)	鈴木米次郎 野村抽江(M35)	鈴木米次郎(M38)	開成館音楽課(M41)
41	弦楽合奏	141	241	341	441	541	641	741	841 (ストリングバンド) 絃楽器の合奏	941
42	管楽合奏	142	242	342	442	542	642	742	842 (ブラスバンド) 管楽器の合奏	942
43	管弦楽	143	243	343	443	543	643	743	843 (オーケストラ) 管絃楽	943
44	吹奏楽	144	244	344	444	544	644	744	844 (ブラスバンド) 吹奏楽	944
45	楽音	145	245	345 (音楽上の声音)	445	545	645 (ミュージカルサウンド) 楽音	745	845	945
46	雑音	146	246	346	446	546	646 (ノイズ) 乱音	746	846	946
47 (sound)	音響	147	247	347	447 (sound) 音響	547 (サウンド) 音	647 (サウンド) 音	747	847	947
48	音色	148	248	348	448 (character) 音色	548	648 (チェンバー) 音色	748	848	948
49 (楽音)特性	(パワー) 時、調、度	249	349	449	549 (音の三特性) 高低、長短、強弱	649 (律)(間)(音量)(いろいろ) 調子、拍子、強弱、音色	749	849	949 (音の特性) 高低、長短、強弱	
50 (pitch)	音高	150 (ピッチ) 調	250	350 (ピッチ) 高度	450 (pitch) 音 度	550 (音)の高低	650 (ピッチ) 調子、律	750	850	950
51	純正律	151	251	351	451	551	651	751	851	951
52	平均律	152	252	352	452	552	652	752	852	952
53	音高の基準	153	253	353	453 (は……256 (Hz) ・パリコンセルヴ(258.7) ・コンサートピッチ(269) ・イタリアンオペラ(273) ・ソサエテ-オファーン(264) ・セルハーモニックソサエ- テ- (268.5) ・ハンデル(249.1)	553	653	753	853	953

(1) 「楽譜」《表1参照》

今日の用法と同じ表記が大部分である。

〈09〉の「かっこ」については「連続〈209〉」や「鈎線〈509〉」なる名称を与えている。^{〔注12〕}^{〔注13〕}^{〔注14〕}しかし〈509〉の「鈎」は、《表3》の〈24〉の「符鈎」との混同が考えられる。しかし、資料〈5〉に関しては、「符鈎」〈524〉なる表現が明記されていない。従って、資料〈5〉に関してのみ検討する上では、混同の心配はない。




次に《表1》の「不完全小節」〈20〉については、「変格小節」〈520・620・920〉として統一を見る。また、関連することとして、「弱起」《表5》の〈106〉～〈506〉、〈906〉の(譜例)は、不完全小節やアウフタクトの例が、楽譜として記載されていることを示す。しかし、資料〈6〉「楽典教科書」^{〔注15〕}以外は、「auftakt, アウフタクト, 弱起」なる名称が与えられていない。


このことは、《表1》の〈23〉～〈26〉に見られるように、「形式(form)」の基礎単位でもある「動機・楽節」等の記述が少ないことと同様に、この方面の認識が一般的になされていないことを示している。

(2) 「記号・略号」《表2参照》







staccato について、若干現在と異なる。



現在は、一般的には便宜上三分類している。

- ① 「」……staccato (普通, スタッカートと言った場合, これを指す)
- ② 「」……mezzo staccato
- ③ 「」……staccatissimo

しかし、《表2》では、mezzo staccato は〈402〉1例のみであり、しかもこの「半弾音」なる名称は、〈03〉ではなく〈02〉の「」の方に分類している。

〈02〉と〈03〉との比較から、staccato に「頓音」〈203, 302, 303, 603〉、「弾音」〈403〉の訳を与えている。その他は、黒点〈302, 502, 902〉と垂点〈303, 403, 503, 703, 803, 903〉のように、どのような点であるかで、違いを区別している。

また、「」と「」に対して、staccato を同等に与えている資料は〈3〉〈8〉〈9〉である。〈2〉〈4〉〈6〉は「」の方を staccato とむしろ表現している。このことから当時、staccato は「」と「」の両方を意味するか、または「」が staccato を代表する音符であったと言える。

「tr.」については、〈425〉と〈430〉と比較すると「」(プラトリラー)を「Trill」と名づけ、「tr.」を「Trillo」と名づけている。「Trill」は英語表記の「tr.」であり、「Trillo」は、イタリア語表記の「tr.」であり、同じことである。さらに、〈925〉と〈926〉を比較すると、「」をモルデントと呼ぶところが、今日の言い方と異なる。即ち、Pralltriller のことを uper mordent (上方回音)としているからである。〈925〉が「逆漣音」で、〈926〉が「順漣音」と訳す方が、むしろ今日の表現に近くなる。

以上、今日と若干ニュアンスの異なる点を述べたが、《表2》で、その他特徴的な名称を取り上げてみる。

〈606〉「帯」Tie の発音と意味とがうまく合っている。

〈307, 407, 507〉「全絃神速反復(返動)」

<907> 「琶音」

<220, 420, 620> 「塩梅記号」^(註16)

(3) 「音符・休符」 《表3参照》

音符や休符については、今日の言い方とほぼ一致している。

<26> の三連（音）符を「変拍子」<326, 426, 526, 626, 826, 926> と表現している。この変拍子は、今日の「変拍子」、即ち交替する拍子や混合拍子さらに複数の拍子が同時に存在する拍子とまったく意味が異なる。

また <124> の「符尾」は他の資料の意味と今日の意味と異なる。

次に「ㄨ」と「ㄣ」については、どちらの表記も四分休符を意味する。休符が「ㄣ」→「ㄣ」→「ㄣ」→「ㄣ」と図形的に半減したり、上下対称形になることで、音価を半減させる規則は、理解しやすい。また短い休符が「ㄣ」→「ㄣ」→「ㄣ」→「ㄣ」と鉤の本数の減少や左右対称形で、倍数関係の音価を表現していることも理解が容易である。しかし「ㄣ」の形については、全休符からの方向にしても短い音価の休符からの図式からも理解に苦しむところである。この点については、Ⅳ. 考察で述べる。四分音符の形状について次のような記述が、資料<6> 楽典教科書にある。^(註17)

〔四分黙符の形状及びその拍数〕 譜表の二間と三間とに置くを通例とす時間の長さは一拍なりㄣ ㄣは多く印刷に用ひㄣは書写に用ひると雖ども何れを使用しても差支なし

《譜1》



(4) 「強弱に関する記号」 《表4参照》

強弱についての特徴は「一声」との表現がなされ、「強音」は<414>そして「一勢」は<8>と「声」以外の表現は珍しい。

初心者の演奏は、楽譜に「f」が書かれているから単に音量的に強め、「p」はその逆に弱めるだけの演奏が多い。<204> や <201> の「剛壯」・「柔軟」は、単なる強弱だけでないニュアンスが含まれている。さらに、「ff」の配慮すべき点として <206> の「而て粗暴に失す可らず」を確認せねばならぬことは、今日の演奏にも通じる点である。

強弱記号ではなく、オルガンストップについての説明ではあるが、《表9》の「風琴」のストップ機構については、音や音楽に求める当時の願いが表現されている。

<629> 「Forte」……勢力を付加して音を強くする義なり、この音栓を抜き出さば音は強剛となるべし

<631> 「Piano」……Forte の反対にして、音色は柔和優美なり

単なる「強・弱」だけでなく、音色に対するイメージまでも大切にしている。

(5) 「拍子」 《表5参照》

拍子記号「C」は「4/4」, 「♩」は「2/2」でほぼ一致しているが、<311>では「C」を「4/2」

と「4/4」の両者に相当させている。また〈411〉では「♩」を「4/2」に相当させている。
 〈115〉において、「♩」を8拍子的に説明している。《譜2参照》

《譜2》

(注18)



拍子の分類についてまとめると、対称的な二項目で捉えられる。

「単(単純, 普通)拍子」と「複(集合)拍子」。さらに「偶数(普通, 平等)拍子」と「奇数(三進, 不等)拍子」

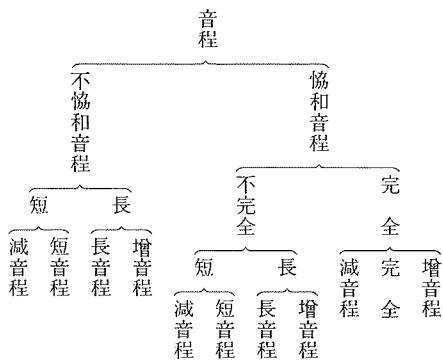
〈418〉の「不規則なる拍子」を混合拍子に置き換えると資料〈4〉が、最も今日の分類に近い。

(6) 「音程・和音」 《表6参照》

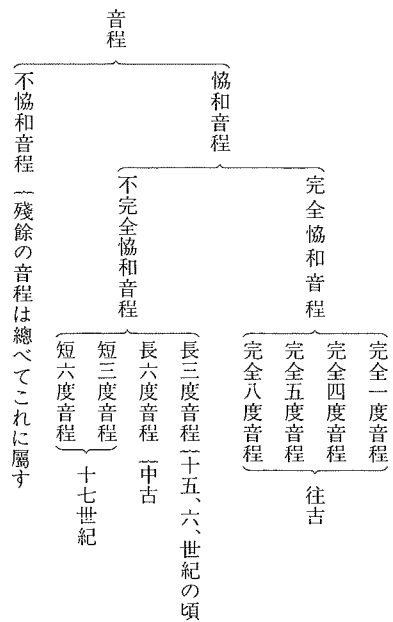
今日の「増音程」に対し「三連全音的(増4度)」や「超過大完全」なる表記が見られ、「減音程」に対しては、「不及」「不完全」なる表記がなされている。

次に協和音程と不協和音程の分類について《図1》^(注19)と《図2》^(注20)の二例を引用する。

《図1》



《図2》



今日の分類は、《図2》の分類と同じである。

(7) 「楽語(速度・その他)」《表8参照》

Andante と Andantino の速さについて、今日理解と同じものは〈9〉の〈906〉及び〈908〉

である。それ以外については Andante が、Andantino より速い速度として記述されている。

また、〈606〉に見られるように、Andante を Andantino を基準に説明する例もある。

現在、Andantino なる語を音楽用語として用いていないが、資料〈4〉では、明確に区別し記述している。

〈406〉 Andante ……寧ろ緩徐に，程良き速度にて

〈407〉 Andantino …… (not so slow as Andante) Andante の如く緩かならず

〈408〉 Andantino …… (diminutive Andante) Andante より稍速度を減じて

(8) 「その他の用語」 《表9参照》

〈518〉〈714〉〈719〉の*印は資料の本文中に記述されているものではなく、末尾の広告中の記載である。

〈109〉〈409〉の「C音」の音高を「A音」に換算すると《表10》のようになる。

《表10》 A音への換算表

資料番号		〈409〉							
		〈109〉	C = 256	258.7	269	273	264	268.5	249.1
音律	振動数	C = 65	C = 256	258.7	269	273	264	268.5	249.1
平均律換算 (Aの振動数) [$C \times 2^{\frac{1}{12}}$]		437.27	430.54	435.08	452.40	459.13	443.99	451.56	418.93
純正調換算 (Aの振動数) [$C \times \frac{5}{4}$]		433.33	426.67	431.17	448.33	445	440	447.3	415.17

IV. 考 察

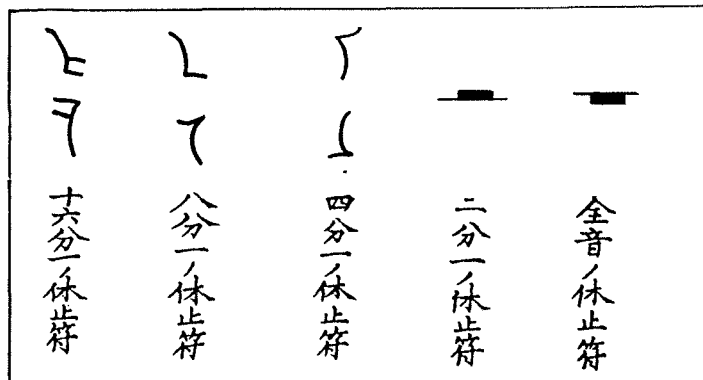
(1) 「𠂔」の由来について

資料〈1〉に次のような記述がある。

「四分一及八分一の休止符に於て。其符体の方向の異なるは。敢て妨なし。音符に於て。其符体の方向の異なると同じ。」^(注21)

同時に図で示している。《図3参照》

《図3》



(注22)

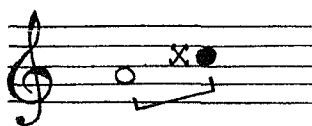
資料〈1〉の記述から、四分休符の「 \sphericalangle 」を逆転させると「 \sphericalangle 」の記号になる。このことから、「 \sphericalangle 」は「 \sphericalangle 」から生じた記号であり、結局「 \sphericalangle 」は「 \sphericalangle 」から生じた記号と考えられる。しかし、資料〈4〉には、次のような記述も見られる。

「音符の符尾は便宜により或は上向し或は下向せしむと雖ども休止符の符尾は常に下向せしむるものとす」^(註23)

この記述は、休符に音高が存在しないために、音符のように上向き、下向きの符尾をつけることが、むしろ煩雑になることから、次第に休符の方向が一定化されてきたものと考えられる。

(2) 協和音程と不協和音程について

《譜3》



《譜4》



《譜3》は増3度であり《譜4》は完全4度である。今日、前者を「不協和音程」そして後者を「(完全) 協和音程」に分類する。

しかし《図1》では、完全及び不完全協和音程の中に増音程と減音程が分類されている。この《図1》から判断し、《譜3》の音程を解説すると、次のようになる。

「 $\dot{A} \sim \dot{C}$ 」が短3度、「 $\dot{A} \sim \dot{C}\sharp$ 」で長3度、さらに「 $\dot{A} \sim \dot{C}\times$ 」で増3度となる。以上の3種の音程は全て「不完全協和音程に属する。という説明である。即ち、「 $\dot{A} \sim \dot{C}\times$ 」は不協和音程ではない。同様なこととして次のようなことは、めずらしいことではない。

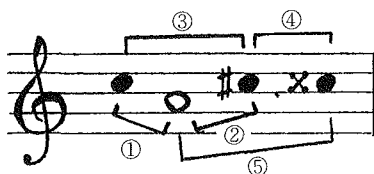
「例えば、中学校や小学校の音楽の授業において、ピアノで協和音と不協和音を鳴らして教えているような場合には、バイオリンの調弦に見られたような厳密な協和感とは全く異なった態度で聞かれている」^(註24)

《図1》の説明とピアノで協和、不協和音の説明を試みることは、「誤った前提からどのような結論も導かれる」の類いの問題である。

平均律を前提とすると、《譜4》が協和音程ならば、《譜3》も協和音程となる。なぜなら、 $\dot{C}\times$ と \dot{D} とは異名同音、即ち同音であるからである。同様に、《譜3》をピアノで弾いて、「不協和な響きでしょう」と言い、直後に《譜4》をピアノで弾いて、「これが協和音程の響きです」との説明が、いかに矛盾しているかがわかる。

両者の前提が純正調であると、次のように証明できる。

《譜5》



《譜5》において、各々の音程の比は次のようになる。

- ① \dot{A} に対し \dot{C} は $(6/5)$ である。
- ② \dot{A} に対し $\dot{C}\sharp$ は $(5/4)$ である。従って
- ③ \dot{C} に対し $\dot{C}\sharp$ は $(5/4) : (6/5)$ となる。即ち③の半音の比は、 $(25/24)$ である。
- ④ 同様に \dot{C} から基準を $\dot{C}\sharp$ に上げ $\dot{C}\sharp \sim \dot{C}\times$ の半音も $(25/24)$ である。

⑤ $\dot{A} \sim \dot{C} \times$ は②+④の音程であるから、 $(5/4) \times (25/24) = (125/96)$ である。

完全4度の比は $(4/3)$ であるから、 $(125/96) < (128/96) = (4/3)$

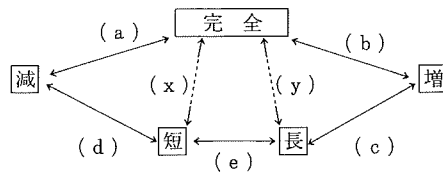
以上のことから、明らかに「増3度」と「完全4度」とは異なった響きであることが、理解できる。

従って、《図1》やピアノによる音程の説明には矛盾があることも認識すべきである。

(3) 長音程と短音程はなぜ完全音程に移行できないかについて

この問題は、現在の初心者への質問に多い。しかし、音楽通論の中で、「長・短音程から増・減音程に移行できる。しかし完全音程へは移行できない」との結論のみが記述され、その理由の記述が無い。この問題について、同じ手法で証明し、説明が可能である。

《図4》



《図4》について、具体的に半音間の比率を求めてみる。

《表11》 純正調(音程の比) (注25)

音程	短2度	長2度	増2度	減3度	短3度	長3度	増3度	減4度	完全4度	増4度	
比	$\frac{16}{15}$	$\frac{9}{8} (\frac{10}{9})$	$\frac{75}{64}$	(*1) $\frac{144}{125}$	$\frac{6}{5}$	$\frac{5}{4}$	$\frac{125}{96}$	$\frac{32}{25}$	$\frac{4}{3}$	$\frac{25}{18}$	
音程	減5度	完全5度	増5度	減6度	短6度	長6度	増6度	減7度	短7度	長7度	増7度
比	$\frac{36}{25}$	$\frac{3}{2}$	$\frac{25}{16}$	(*2) $\frac{192}{125}$	$\frac{8}{5}$	$\frac{5}{3}$	$\frac{125}{72}$	(*3) $\frac{432}{250}$	$\frac{9}{5}$	$\frac{15}{8}$	$\frac{125}{64}$

(a) 「完全 \longleftrightarrow 減」の半音の比

- ・完全4度-減4度 = $(4/3) \div (32/25) = (25/24)$
- ・完全5度-減5度 = $(3/2) \div (36/25) = (25/24)$

(b) 「増 \longleftrightarrow 完全」の半音の比

- ・増4度-完全4度 = $(25/18) \div (4/3) = (25/24)$
- ・増5度-完全5度 = $(25/16) \div (3/2) = (25/24)$

(c) 「増 \longleftrightarrow 長」の半音の比

- ・増2度-長2度 = $(75/64) \div (9/8) = (25/24)$
- ・増3度-長3度 = $(125/96) \div (5/4) = (25/24)$

- ・増6度－長6度＝ $(125/72) \div (5/3) = (25/24)$
- ・増7度－長7度＝ $(125/64) \div (15/8) = (25/24)$
- (d) 「短 \leftrightarrow 減」の半音の比
- ・短3度－減3度＝ $(6/5) \div (144/125) = (25/24)$
- ・短6度－減6度＝ $(8/5) \div (192/125) = (25/24)$
- ・短7度－減7度＝ $(9/5) \div (432/250) = (25/24)$
- (e) 「長 \leftrightarrow 短」の半音の比
- ・長2度－短2度＝ $(10/9) \div (16/15) = (25/24)$
- ・長3度－短3度＝ $(5/4) \div (6/5) = (25/24)$
- ・長6度－短6度＝ $(5/3) \div (8/5) = (25/24)$
- ・長7度－短7度＝ $(15/8) \div (9/5) = (25/24)$
- (x) 「短 \leftrightarrow 完全」の半音の比
- ・短6度－完全5度＝ $(8/5) \div (3/2) = (16/15)$
- (y) 「完全 \leftrightarrow 長」の半音の比
- ・完全4度－長3度＝ $(4/3) \div (5/4) = (16/15)$

以上の結果から (a) ～ (e) の各間の半音の比は全て $(25/24)$ である。しかし (x)・(y) 間の比は $(16/15)$ であることから、(a) ～ (e) の半音移行と (x)・(y) の移行とは異なる性質のものであることがわかる。両者の2種類の半音の差は、 $(16/15) \div (25/24) = (128/125)$ で、ディデュモスのコマ $(81/80)$ より広い。

このように、音程を比で説明することは、なぜ倍音列の基音が第1倍音であるかも説明できる。初心者の疑問に、《譜6》の①音から第1倍音と名づけてよいのではないかと、いうものがある。《表11》と《譜6》とが矛盾しないために、①音は第2倍音でなければならない。完全5度＝ $(3/2) \dots$ ①と②。長6度＝ $(5/3) \dots$ ②と③となり一致する。

《譜6》

(4) Andante と Andantino との矛盾について

Andante や Andantino について、ベートーベンのエピソードが伝えられているが、ここでは、資料上の矛盾点を指摘する。

《表8》の〈906〉及び〈908〉のみ今日の解釈と共通している。その他の資料は全て今日と異なる。さらに〈806〉は Andante の分類を「尋常なる速度」にしている。従ってその他の資料〈3, 4, 6, 7〉が矛盾した解釈を示していることになる。

「—ino」は縮小を表わす名詞語尾であるので、—ino が付加されたもとの語が速いか遅いか、

どちらに属するかで、分類が明確になる。資料〈3, 4, 6, 7〉の矛盾(〈1, 2〉は記述なし、〈5〉は Andante のみ)は、遅い速度の Andante に—ino の付加した Andantino がさらに遅い速度になる矛盾である。この点は大正期になると矛盾なく今日の用法と同じ解釈だが、今回は明治期に限定した。

V. ま と め

情報過多の時代にあつて、結果や結論のみを追い求める傾向を強く感じている。音楽科の教育の中で、特に、音楽理論について、結果のみを伝える教員養成のあり方には問題がある。素朴な子ども達の質問に対し、感覚的に、時に理論的に説明できる指導者の養成に発想の転換が求められている。また、表層的な理解ではなく、微妙なニュアンスやより適切なる表現を求める努力を明治期の先人達に学ぶ必要がある。時代とともに、教育の場では音楽用語の精選化が進んで来ている。一例ではあるが「絃楽器の絃」を「弦」と表記しなければならない現在、精選化や簡素化が、本質的なものまでも影響を与え、本質的な点は何であるかが、わからない状況を作りあげているとも考える。そのことは、結局音楽活動や指導上のポイントを教師や子ども達が見失うことにもなる。ゆえに教員養成の中で行われる「音楽理論」は、まず最も本質的な内容から音楽の論理的側面を学ぶべきである。

今後、感覚的側面と論理的側面とを関連づけた研究が進展することが、創造性重視の音楽教育の基礎研究になると考える。

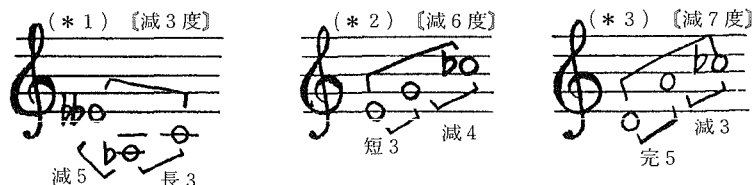
今回、調査にあたり、資料提供をいただいた国立音楽大学図書館に、また繁下和雄(国立音楽大学教授)と鈴木浴三(愛媛大学教授)の両氏に助言をいただいたことに心より感謝申し上げます。

〔注〕

- 〔注1〕「基礎」を表現や鑑賞活動から遊離したものと捉えてはいない。また、基礎の内容が楽典事項であるとの見方は偏狭であると言える。
- 〔注2〕上巻のみで下巻は資料として入手できなかった。しかし上巻の「例言」の中で、下巻の内容について次のように述べている。「下巻は専ら唱歌を授くるの方法。及び教師の心得べき諸件……」また、資料が古く発行年が不明である。そのため②の「続編」が明治22年出版から察し、明治22年以前の出版であると判断した。
- 〔注3〕「音楽の教授に。小学に従事するもの」との記述から、この資料の性格を察することができる。①と②を合わせての理解が妥当である。
- 〔注4〕この資料は、ジェームス、カリー著内田弥一・訳である。師範用ではなくむしろ音楽理論専門書(初級)の性格が強い。尚、文部大臣官房図書館が著作権を所有している。
- 〔注5〕F・A・ゴール、オシレー著の音楽理論教科書の訳本で、末尾に楽語索引がアルファベット順に整理されている。尚、鈴木米次郎(1868・2・6—1940・12・28)は1888年音楽取調掛卒業。教育家。
- 〔注6〕凡例に「本書は初学者の教科用書に適切ならしめんがために、極めて簡明に、略譜を主とし本譜を客として説き、」と述べられている。略譜と本譜とを対比させて記述している。
- 〔注7〕凡例に「本書は師範学校、中学校、高等女学校等の教科用に充てんが為めに著はしたるもの」と記されている。学校用の配慮として、配当時間の目安を師範学校では2年間、中学校では3年内、高等女学校では1年間で本書終結と記述されている。さらに専門的事項や細部をあえて省略していることを凡例で示している。しかし、内容は他資料と比べ多い。
- 〔注8〕唱歌集であるが、簡単な音楽理論が末尾にまとめてある。最末尾の広告が興味深い。例えば、(西洋)

横笛（ハーモニカ）など。

- 【注9】 第一編「楽典大意」、第二編「風琴新教科書」、第三編「声音楽」、第四編「バイオリン曲譜」以上4シリーズの第一編である。即ち、唱歌楽器に関する練習前の手引き書の性格をこの資料は持っている。
- 【注10】 高等女学校及び師範学校用教科書である。
- 【注11】 明治期における初の楽典資料は、次の3書であることが「音楽五十年史（堀内敬三 著） 鱗書房 昭和17年」に述べられている。
- ①「音楽問答」（明治16年7月）
 - ②「楽典」（明治16年7月）
 - ③「音楽指南（メーソン著“音楽教授法”）」（明治16年9月）
- 【注12】 以下〈〉内の数値は資料の数値を示す。〈1〉～〈9〉は資料について〈01〉～〈77〉は各名称や事項を示す。さらに〈101〉～〈977〉は各資料の内容である。
- 【注13】 近森一重：音楽通論（音楽之友社）では「かっこ」と表現している。
- 【注14】 各資料に「鈎」が多く用いられているが、現在では「鉤」を用いる。
- 【注15】 資料〈5〉のみ「弱起」について名称を与えているが、〈5〉の凡例の中と本文の両方で取り扱っている。ただし、「auftac」と綴っている。
- 【注16】 料理の味付けの連想もあり名訳に思われる。尚、現在は「あんばい」だが当時は、「えんばい」と発音していた。
- 【注17】 楽典教科書、P. 39より引用。
- 【注18】 資料〈1〉音楽之枝折・上 P. 33より引用。ただし書きには次のようにある。
「C或は4/4と記したる。単純普通拍子に於ては。其拍子音は。四分一符なるを以て。各節通例四個の割合を以て数ふ可し。然れども♩と記したる。緩慢なる拍子に於ては。各部を小分し。各一小節に八分一符。八個の割合に数ふ可し。」
- 【注19】 資料〈4〉音楽理論 P. 68より引用P. 66～P. 68において、「協音和（協和音程のまちがいと思われる）の半音増加せしものを増音程と云ふ」と記述されているが、その増音程が不協和音程であるとの記述はない。むしろ、《図1》に示されるように、完全協和音程の中に「増・減音程」を分類している。尚、減音程についても同様に記載されている。
- 【注20】 資料〈6〉楽典教科書 P. 142より引用。
- 【注21】 音楽之枝折・上 P. 19より引用。
- 【注22】 注21に同じ。
- 【注23】 音楽理論 P. 28より引用。
- 【注24】 梅本堯夫：音楽心理学（誠信書房）昭和41年 P. 106より引用。
- 【注25】 注24と同書 P. 15～P. 16より引用。（*1）（*2）（*3）は次のように比率を求めた数値をあてはめた。



【注26】 標準音楽辞典（音楽之友社）や“The New Grove Dictionary of Music and Musicians”にある。

【注27】 伊和辞典（白水社）P. 401

〔参考文献〕

堀内敬三：「音楽五十年史」（鱗書房）昭和17年

- 梅本堯夫：「音楽心理学」（誠信書房）昭和41年
石桁真礼生：「楽典」（音楽之友社）昭和40年
福島琢郎：「ピアノの構造・調律・修理」（音楽之友社）昭和25年
大村芳樹：「音楽之枝折・上・続」（普及舎）明治22年
ジェームス・カリー（内田弥一 訳）：「楽典初歩」（大日本図書株式会社）明治21年
鈴木米次郎：「音楽理論」（秀英舎）明治25年
多 梅稚：「楽典入門」（中井書店）明治32年
入江好治郎：「楽典教科書」（共益商社楽器店）明治35年
鈴木米次郎・野村成仁：「中学唱歌集・上」（十字屋）明治38年
鈴木米次郎：「楽典大意」（自省堂本店）明治38年
開成館音楽課：「普通楽典教本」（大阪開成館）明治41年
標準音楽辞典（音楽之友社）
The New Grove Dictionary of Music and Musicians 1980.